

縄文と交感する



世界が自然を開拓して農耕社会を築いていたとき、日本では漁撈・狩猟・採集を生業とする縄文文化が営まれていました。1万年以上もの長きにわたり続いた縄文時代は、優れた技術や豊かな精神性をもった成熟した時代でした。人々は様々な環境の変化に適応しながら自然の恩恵を享受し、時には格闘し、自然と一体となって生きていました。そのなかで、命の循環と再生を信じるころをもち、生活の技術や芸術性をも高めていきました。

当施設で、縄文人の自然観や精神世界を体感し縄文のころと交感することで、自分のなかにある縄文のころに気づくことでしょう。それは縄文の視点で現代そして未来を見つめるきっかけになるかもしれません。

Information

ご利用案内

↑ 開館時間

4～10月…午前9時～午後5時
11～3月…午前9時～午後4時30分
※道の駅エリアは24時間利用可能です。

↑ 入館料

| | 個人 | 団体 |
|----------|------|------|
| 一般 | 300円 | 240円 |
| 学生・生徒・児童 | 150円 | 120円 |

※小学校就学前の子どもは無料。※団体は20名以上。

↑ 体験学習

- ・随時受付の縄文文化体験講座
(予約不要。各種メニュー有)
- ・定期体験講座
(月1回程度開催。要申込)

↑ 休館日

- ・月曜日(休日の場合は最も近い平日)
- ・12月29日～1月3日
- ・館内整理日(毎月最終金曜日)
- ・特別整理期間(年1回、2週間程度)

↑ アクセス

JR函館駅から車で約60分
函館空港から車で約30分
森町市街地から車で約50分



函館市縄文文化交流センター
HAKODATE JOMON CULTURE CENTER

〒041-1613 函館市白尻町 551 番地 1
TEL 0138-25-2030 FAX 0138-25-2033

函館市縄文文化交流センター

函館で縄文のころを繙く



国宝「中空土偶」



「道の駅」縄文ロマン南かやべ

地域の観光・特産品や、道路状況などの情報を発信するエリアです。24時間利用可能なトイレや駐車場、公衆電話等を備え、博物館施設と一体になった国内唯一の“国宝のある道の駅”です。

展示室 1

縄文文化 Jomon Culture

厳しい自然環境の変化に適応しながら成熟・繁栄した縄文文化は、1万年以上もの長い間継続した世界にも類をみない日本特有の文化です。ここからみなさまを縄文の世界へと誘います。



体験学習室

各種講座や学習会の会場です。縄文編みやミニチュア土器づくりなどをいつでも体験することができます。団体は要予約となりますので、詳しくはスタッフへおたずね下さい。



展示室 2

縄文の暮らし

豊かな恵みの源である海や川、山などの自然全てが、縄文人の生活の舞台でした。土器や石器・骨角器などの多種多様な道具類、竪穴住居や貯蔵穴などには、縄文人の知恵や工夫が凝縮されています。それらから、日々たくましく生きた縄文人のくらしぶりが浮かび上がってきます。



縄文の生活 Jomon Life

交易ということ

縄文人たちは私たちの想像を超えるダイナミックな交流をしていました。“漆(赤)”“アスファルト(黒)”“翡翠(碧)”に代表される交易品は、縄文のネットワークにより流通していたもので、モノやヒトが活発に交流していたことを物語っています。



展示室 3

縄文の精神 Jomon Spirit

自然とともに生きていく中で形成された豊かな精神性もまた、縄文文化を象徴しています。足形付土版や土偶といった縄文の精神世界を表わしている遺物からは、命を大切に、循環と再生を信じた縄文人のこころを感じ取ることができるでしょう。



国宝「土偶」

National Treasure "Clay Figure"

著保内野遺跡から出土したこの土偶は、内部が空洞で、頭部から脚先まで全身が薄く精巧につくられており、文様構成にも優れています。中空土偶としては最大で、遺存状態も良好です。縄文時代後期後半(約3,500年前)の墓から出土したことがわかっています。縄文時代の信仰や祭祀の実態や精神文化を明らかにする上で欠かせない資料であり、加えて土偶造形の到達点を示すものとして極めて重要であることから、2007(平成19)年に北海道唯一の国宝に指定されています。



高さ 41.5 cm
幅 20.1 cm
重さ 1,745g

展示室内における飲食およびフラッシュによる撮影はご遠慮ください。

